**家 庭 の 救 急 法**

**【ひきつけ（熱性けいれん）を起こしたら】**

**★　子供のひきつけの大部分は発熱が原因**

　いろいろの原因（かぜ、へんとう炎など）で発熱したとき、急に意識がなくなり、目がつりあがり、手足をつっぱる全身のけいれんが起こる。「熱性けいれん」は通常2~3分でおさまるのが普通である。

①　まずは落ち着くこと。

②　衣服のボタンなどを外し、呼吸が楽にできるようにする。

③　ケガをしないよう周囲の危険物を取り除く。

④　吐物や唾液で窒息のおそれのあるときは、顔を横に向けて寝かせる。

⑤　口にタオルなどの詰め物は不要です。

⑥　無理に押さえつけたり、抱き上げたりしない。

⑦　繰り返し起こす場合は、他の原因（脳疾患等）の可能性がある。

**【やけど（熱傷）をしたら】**

★　**やけどをした部位を冷水につけて、よく冷やす。**

①　悪化する可能性があるので薬を塗ったり、貼ったりしない。

1. 水道水を流しながら、少なくとも10～20分以上冷やす。
2. 衣服を着ている場合は脱がさずに、衣服の上からたっぷり水をかけて冷やす。
3. 水疱ができている場合は絶対にやぶらずに、冷却後ガーゼなどで保護し、受診する。

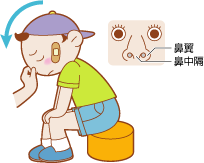
⑤　全身をやけどした場合は、冷却せずにきれいなシーツやタオルなどでくるんで保温する。（体温調節ができなくなるため、低体温になってしまう）

**【鼻血がでたら】**

**★　指で鼻を強めにつまむ。**

①　指で鼻を強めにつまむと大部分は止まるが、高血圧症などでは止まりにくいことがある。

②　静かに座らせておく。口の中に流れ込んだ血液は、吐き出させる。

③　もし、このような処置でも止まらないときは、もっと深い部分か、別の原因での出血を考えて、医師の治療を受ける。

**【頭を打ったら】**

**★　負傷部位を確認し、意識状態をよく観察する。**

①　意識の程度が脳障害の程度をあらわすので、どんな軽いケガでも、1日ぐらい安静にして、意識や全身状態などに異常があるかどうか様子をみる必要がある。

②　嘔吐、頭痛、耳、鼻の出血、けいれん、意識障害などがあれば至急、受診する。

③　出血がある場合は、清潔なガーゼやタオルでしっかり押え止血する。

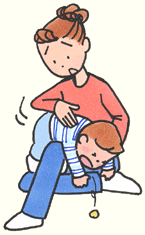
**【タバコをのみこんだら】**

★　**素早く口の中に残っているタバコのカスをふきとる。**

①　大人で2本、子供で1/2～1本食べたら死ぬと言われている。

②　実際には味がにがくてのみこめず、すぐ吐き出してしまう。

③　タバコが浸っていた水を飲んでしまった場合は、受診。

**【誤飲】**

**★　のどがつまって窒息状態は、背中の真中を数回強く叩く。**

①　無くなっているもの（硬貨、ボタン、クリップなど）の確認

②　鋭利なもの、大きな異物、毒性の強いものは１１９番と応急手当

**【ハチにさされたら】**

★　**毒針が残っていればこれを抜き、傷口を水で洗い、冷やす。**

①　おしっこは絶対にかけない。（効果がなく、傷口に良くないため）

②　呼吸困難等、刺されて様子がおかしくなったらすぐ医師の治療を受ける。

**【犬や猫・ネズミに咬まれたら】**

**★　傷口を水でよく洗い、清潔なガーゼで覆う**

①　出血が多い場合は、清潔なタオルやガーゼでしっかり押さえて止血する。

**【毒ヘビにかまれたら】**

**★　安全な場所へ移し、安静に保ち、早く医療機関へ受診する。**

①　安静にして走ったりしない。

②　日本で問題となるのは、【マムシ】【ヤマカガシ】【ハブ】

③　できるだけ早く患者を医療機関へ受診させる。

**【薬物中毒を起こしたら】**

★　**何を飲んだかで初期手当は異なる。飲んだ時刻、薬物の種類、量などが重要。**

★中毒情報の入手方法★

★タバコ中毒110番（テープ応答：無料）

０７２－７２６－９９２２

★大阪中毒110番（24時間・年中無休：無料）

０７２－７２７－２４９９

★つくば中毒110番（9時～21時：無料）

０２９－８５２－９９９９

**薬物の応急手当方法**

**１　食べた場合・飲んだ場合**

（１）　口の中に残っているものがあれば取り除き、口をすすいで、うがいをさせる。

（難しい場合は濡れガーゼでふき取る）。

（２）　吐かせることは吐物が気管に入ってしまうことがあり推奨しない。特に吐かせることで症状が悪化する危険性のあるものの場合は絶対に無理やり吐かせない。

（医師の判断によりこの限りではない）

≪絶対に吐かせてはいけないもの≫

|  |  |
| --- | --- |
| 例 | 理由 |
| 石油製品（灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など） | 気管に入ると肺炎を起こす |
| 容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品 （漂白剤、トイレ用洗浄剤、換気扇用洗浄剤など） | 食道から胃にかけての損傷を 　よりひどくしてしまう |
| 防虫剤の樟脳（しょうのう）、ナメクジ駆除剤など | けいれんを起こす可能性がある |

（３）　刺激性があったり、炎症を起こしたりする危険性があるものの場合は、牛乳または水を飲ませる。  
誤飲したものを薄めて、粘膜への刺激をやわらげる。飲ませる量が多いと吐いてしまうので、無理なく飲める量にとどめる（多くても小児では120mL、成人では240mLを超えない）。

≪牛乳または水を飲ませたほうがよいものの例≫

|  |
| --- |
| 容器に「酸性」または「アルカリ性」と書かれている製品 　　（漂白剤、トイレ用洗浄剤、換気扇用洗浄剤など） |
| 界面活性剤を含んでいる製品（洗濯用洗剤、台所用洗剤、シャンプー、石けんなど） |
| 石灰乾燥剤、除湿剤など |

（４）　飲ませることで症状を悪化させる恐れがあるもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 例 | 理由 | http://www.j-poison-ic.or.jp/icons/ecblank.gif |
| 石油製品（灯油、マニキュア、除光液、液体の殺虫剤など） | ・吐きやすくなり、吐いたものが気管に 　入ると肺炎を起こす  ・牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に 　吸収されやすくなる | 牛乳**×**、水**×** |
| たばこ、たばこの吸殻 | たばこ葉からニコチンが水分に 　溶け出し、体内に吸収されやすくなる | 牛乳**×**、水**×** |
| 防虫剤  （パラジクロルベンゼン、 ナフタリン、樟脳（しょうのう）） | 牛乳に含まれる脂肪に溶けて、体内に 　吸収されやすくなる | 牛乳**×** 　（水はどちらでもない） |

**２　吸い込んだ場合**　　　きれいな空気の場所に移動する。  
　  
　　**３　眼に入った場合**  
　　　眼をこすらないように注意して、すぐに流水で１０分間以上洗う。  
　　　眼を洗うことが難しい場合や、コンタクトレンズが外れない場合は無理をせず、

すぐに受診する。  
　  
　　**４　皮膚についた場合**　　　すぐに大量の流水で洗う。付着した衣服は脱ぐ。